

中央大学父母連絡会

# Kusa no 草のみどり Midori

May

5

2019年5月

Vol.313

## 巻頭特集

- 1 中央大学父母連絡会へようこそ
- 2 父母懇談会開催のお知らせ
- 3 2018年度卒業式／2019年度入学式
- 4 What's New! 経済学部

# 新2学部が始動!

第1期生  
296名



真剣な眼差しの新入生の皆さん



オリエンテーションでも英語、中国語でスピーチ



河合 久 初代国際経営学部長

## 国際経営学部

言語と文化の壁を越え  
世界を動かす人になろう

英語で新しいスタートをきる

国際経営の実践的知識を修得

4月2日(火)に執り行われた入学

式にて、国際経営学部の第1期生が新しい一歩を踏み出しました。新入学生による入学の辞では代表の小林優さんが流暢な英語でスピーチ。自らの留学体験を基に、グローバル化の波にのめれないためにも文化的多様性を受け入れながらバランス感覚を持つことが大切と述べ、福原学長をはじめ列席した教授陣も大きくうなずいていました。

入学式後に行われたオリエンテーションでは、河合久国際経営学部長ほか担当教員のスピーチは英語と中国語。まさに国際経営学部らしいスタートの日となり、新入学生の皆さんは緊張の中にも一層の期待をふくらませ、笑顔があふれていました。



新入生代表 小林 優さん

国際経営学部は Be Ahead of the World. (世界を動かす人になろう。) というキャッチフレーズが示すように、グローバル・レベルで活躍できる人材の育成を目的に創設された学部です。最も特徴的なのは経営学の専門分野を、英語をはじめとする外国語で修得すること。授業の約7割が英語で行われ、さらに中国語、スペイン語の講座も選択することができます。また、1年次には海外短期留学が必修で、2、3、4年次の専門演習では海外インターンシップやフィールド・スタディを体験するなど、座学に留まらず国際経営の現場を体感し、実践的知識を身につけることができます。

「実学」は本学の建学の精神として受け継がれてきたものです。日本語の殻を破り英語で発想し、行動する力を鍛えることで、「国と国のビジネス」から「国を超えた地球規模のビジネス」へと、活躍の場を広げることが本学部の目標です。

# 国際情報学部

# 26年ぶりの開設

第1期生  
151名



国際情報学部

Faculty of Global Informatics



INFORMATION TECHNOLOGY  
& LAW  
ICHIGAYA TAMACHI LINK



国際情報学部を表す「ITL」のロゴ

既に授業が始まったかのような熱量の高さ

平野 晋 初代国際情報学部長



新入生代表 小貫 太聖さん

多摩キャンパスで行われた入学式の午後の部にて、国際情報学部の第1期生が新しい門出を迎えました。倍率約40倍という難関を乗り越えて入学した新入学生の代表は、小貫太聖さん。まったく新しい分野に挑む決意を述べ、現実社会を見る意識の高さを感じさせました。

続いて行われたオリエンテーションでは、平野晋国際情報学部長はじめ各教員が熱のこもったスピーチを展開。法と規範の違い、派生型トロッコ問題から「Twitter」の話題グラフなど、まるで授業が始まったかのようなお話に、全員身を乗り出して聞き入っていました。文系、理系それぞれの志向を持つ新入学生の皆さんのモチベーションが一気に高まった一日でした。

## 国際情報学部

### 志の高い少数精鋭が 情報社会の未来を担う

難関を乗り越えた新入学生を歓迎

確立されていない新分野へ挑戦

現代社会においてAIやIoTなどのネットワーク化が進むなか、今後新たに発生する問題はさまざまな学術分野の知見とグローバルな視点を合わせなければ解決できません。たとえば、自動運転機能で起きた自動車事故は誰の責任か、といったことがもうすぐ現実になるのです。こうした問題を解決するために、従来の文系、理系の枠を超えて開設されたのが国際情報学部です。「情報の仕組み」「情報の法学」「グローバル教養」という3つの分野を体系的に学び、「できること」と「やって良いこと」を理解し、情報を実践的に扱う人材を育成します。キーワードとして掲げるITLは「Information Technology & Law（情報の仕組み）」と「情報の法学」の融合)とIchigaya Tamachi Link (市ヶ谷田町リンク)のダブルミーニング。市ヶ谷田町キャンパスの立地を活かして産官学へと接続し、情報分野の学術的トレンドを発信しながら、社会とつながるネットワークの拠点となることをめざします。